

2008年・夏号 summer! 《号外》

たけまさ公一 ホームページ

<http://www.takemasa.org>

【後期高齢者医療制度】

消えた年金でも天引き!

七十五歳以上の方を独立した医療保険制度にする「後期高齢者医療制度」が始まりました。保険料は年金額から天引きする一方、高齢者が十分な医療を受けにくくなる、「医療費抑制机上法」といえます。これまでの市町村単位の国民健康保険制度から都道府県単位の広域連合制度に変わります。果たして医療費の適正な使い方の検証が可能なのか。五月二十三日、民主党は野党四党共同でこの法案の廃止法案を国会に提出しました。

一年前の郵政選挙後の通常国会で自民党公明党の強行採決で決まったために、十分な議論がされず生煮えのまま見切り発車したものであり、世界に例のない七十五歳とそれ以下で二つ

支出の契約内訳(平成18年度)

独立行政法人 国立病院機構		
一般競争入札	100%	1,162 (20.5%)
	99%~100%未満	2,251 (39.9%)
	95%~99%未満	1,104 (19.5%)
	95%未満	1,139 (20.1%)
	合計件数	5,656 (100%)
指名競争入札	100%	232
	99%~100%未満	119
	95%~99%未満	59
	95%未満	35
	合計件数	445
随意契約	特命随意契約	1,919
	特命随意契約以外	3,704
	合計件数	5623
総契約件数		11,724

に分ける医療制度です。七十五歳以上の保険料の上がるスピードは、七十四歳以下の二倍近いと厚生労働省も認める理由は責任の所在が不明確な「広域連合」ゆえといえます。七十五歳以上の方が、一人の主治医を決めなければならぬ制度は現状にそぐわない等、小手先の見直しではなく、一度立ち止まって見直すために必要な財源は、来年度からと閣議決定した道路特別会計(約六兆円)の一般財源化や、医薬品・医材料・医療機器の契約の適正化に求めます。

医療費の支出総額二十三兆円の四分の一、約八兆円を占めるのが医薬品・医材料・医療機器です。

別表は、全国に百四十の病院を有する(独)国立病院機構です。その支出契約を見ると、一般競争入札の二十%が落札率百%で、九十九%以上が六割を占め、金額では八割近くとなっています。厚生労働省の答弁は「医療界の流通は特殊だから」とのことですが、「無駄遣い」のチェックに聖域はありません。その分の財源で、「三十六時間勤務の病院医」「三日、四日に一回当直がある看護師」「産科医不足の切り札となる助産師」など、「チーム医療」の人への報酬を厚くするべきです。民主党は、医療、介護、年金をセットで抜本的な社会保障制度の見直しを行います。

【ガソリン暫定税率】
わずか一ヶ月で復活！



一リットル二十五円のガソリンの暫定税率等は、わずか一ヶ月で復活してしまいました。来年から道路予算六兆円を道路以外に使えるように」という一般財源化の内閣の閣議決定は出させることが出来ました。もちろん、四月・五月と衆議院の三分の二以上の議席の両決議で、暫定税率十年延長と閣議決定と矛盾する法案が可決していますので、国会閉会後も道路特別会計の問題点は引き続き取り上げていきます。

ひいては、二十一の特別会計(百七十五兆円)の支出の無駄遣いの見直しにつながるからです。

【消えた年金記録】

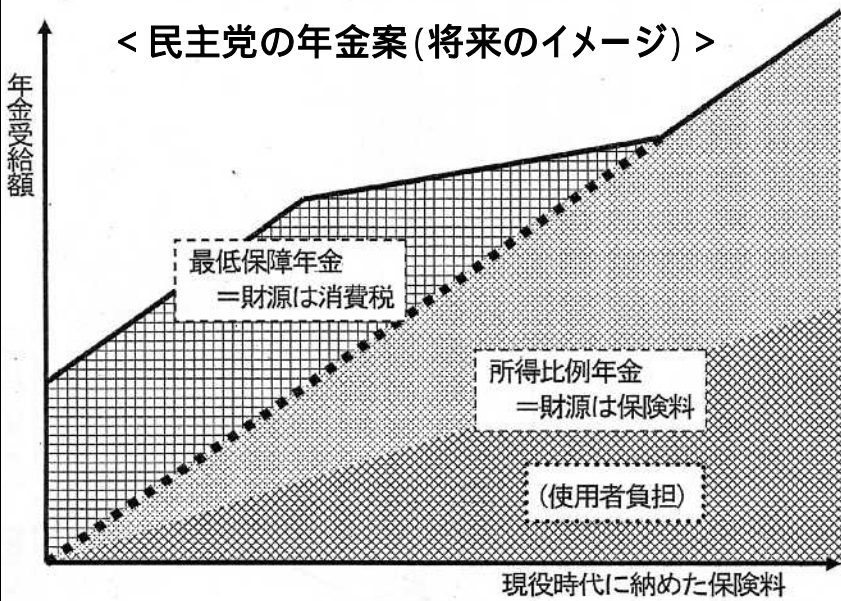
照合完了は八%のみ！

昨年の参議院議員選挙時の前総理と自民党の公約「消えた年金記録五千万件の照合を三月までに終わらせる」は、結局、四百四十万件しか照合が出来ませんでした。公約が守れなかったことを、政府与党、特に厚生労働省はきちっと「総括(検証)」すべきであります。残る四千五百六十万件の照合は、かねて民主党が主張してきたように、「一件一件の記録について、年金記録台帳とコンピューターの画面とを人海戦術で付き合わせる」しかありません。照合方法を改めさせるためにも総括は欠かせません。引き続き、徹底的に追及し

ていきます。

左の図が民主党の年金案の概要です。あくまで、保険方式です。掛け金に応じて保険料を受け取る仕組みです。ただし、所得の低い方には最低保障年金を全額税(消費税)で支払います。

これらの新しい制度を導入しても、これまで支払った掛け金に応じた年金額は保障するというものです。



埼玉県第1区
(岩槻区・浦和区・緑区・見沼区)
選出地方議員の紹介



浅野目 義英(県議・浦和区)
昭和33年生まれ
民主党・無所属の会、福祉保健医療委員会委員、民主党埼玉県連副幹事長



神崎 功(市議・緑区)
昭和30年生まれ
民主党・無所属の会さいたま市議団団長
保健福祉委員会委員、民主党埼玉県連副代表



高野 秀樹(市議・岩槻区)
昭和35年生まれ
民主党・無所属の会さいたま市議団
文教委員会委員、議会運営委員会委員

衆議院議員たけまさ公一プロフィール

昭和36年(1961年)生まれ
県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業
松下政経塾(第5期生)
埼玉県議会議員2期
衆議院議員3期(外務委員会理事、予算委員会委員)
民主党埼玉県連 幹事長



原田 健太(市議・浦和区)
昭和42年生まれ
民主党・無所属の会さいたま市議団、文教委員会委員長
予算委員会委員、民主党埼玉県連副幹事長



三神 尊志(市議・見沼区)
昭和55年生まれ
民主党・無所属の会さいたま市議団
総合政策委員会委員、予算委員会委員